

二子山西岳中央稜登攀 2015

日程：2015年8月1日

メンバー：藤野(L)、國井(SL)、和田

報告：國井



2ピッチ目。フォローするのは國井さん。

今回は珍しく、当日の朝は、集合場所の道の駅芦ヶ久保へは電車で行き、藤野さん達に合流。今回、和田さんとは初対面だったが、気さくに話しかけてくださる方で、直ぐに打ち解けられて良かった(笑)。

毎度のこと、道の駅芦ヶ久保から車で約1時間走って股峠の駐車場へ到着、アプローチを進み取り付きへ向かう。我々のパーティーが一番乗りで準備している最中も後続は来ず、今日は気兼ね無く登れそうだ。

結局のところ、こんな猛暑の中、日当たり最高のこの岩に登る物好きは居ないだろうと踏んで計画を立てた、藤野さんの予想的中で、この日、中央稜の登攀を行ったのは、我々のパーティーが唯一だった(笑)。

さて、ここからは登攀の話。準備中に気になったのが、藤野さんと和田さんのやり取りだった。「いや、そうじゃなくて、輪をつくって・・・」、「こうですか?」、「いや、その輪じゃ無く、普通に八の字・・・」。エイトノットができない?!あれ?藤野さんから、聞いていた話じゃ、結構登れるって言ってなかった?こんなやり取りを横で聞いていて、ちょっと不安になっていたが、登り始めたら、藤野さんの言っていたことが本当だったと分かった。と言うか、すいすいと登ってくるので、ちょっとプレッシャーを感じてしまった。

登攀システムは、3人でシングルロープ一本、リードとビレイヤーが入替わり登る変則。もちろん藤野さんの指示によるもので、後方に余裕があるからできる方法だそうだ。確かに毎ピッチ、結び直しを要するので、ちょっと時間が掛かった。

中央稜登攀は今回で4か5回目、しかし4ピッチ目を一回リードしたことが有るだけで、後は全て吊られて登るだけだった。過去に核心の3ピッチ目では、吊るされているものの、ズリ落ちテンションを掛け、腕や脛に良い感じの擦り傷と内出血を作ったことも(笑)。



核心の3ピッチ目。



5ピッチ目。リードするのは國井さん。

去年の今頃からだっか、それまで、そこそこの練習しかしてこなかったクライミングを、何の間違いか結構やるようになって、亀の歩みながらも少しずつ手応えも感じてきていたので、中央稜はリベンジしなきゃ、いけないなと思っていた。そんなこともあり、「全ピッチリードをしたい」お願いしたが、敢無く却下、1・3・5ピッチをリードすることになり、ま〜核心の3ピッチ目をやれるので気合いは十分、と一言でスタート。1ピッチ目は終了手前のトラバースが、ちょっとだが、無難にクリアー、藤野さん、和田さんと続く。2ピッチ目、藤野さんリード、本調子では無いみたいだが上がって行く。さあ来ました3ピッチ目、「！！やっぱり、トレーニングは嘘つかないんだなー、と実感！なんと、出だしかのスラブ！以前はここからでも「ちょっと怖いなー」と感じていのに、「おー、スラブだー」と思う程度、気持ちの余裕が違う。登ってみても、指に感じるしっかり感が確実に違っている。核心のクラックも、やや緊張はしたものの、あれだけ四苦八苦したところが、すんなりと余裕を残しつつ抜け、残りの5ピッチ目も楽しみながら登れた。

登攀時のコンディションは、終了点までは夏のギラギラ太陽は雲で隠れ、直射日光を浴びることなく、適度な風も有って涼しさも感じられ、この時期としては絶好の当たり日だった。

<コースタイム>

股峠裏駐車場 7:35-8:00 取付き 8:20-3ピッチ目終了点大テラス(休憩*)-12:25 終了点(上級者道合流)
-西岳山頂-13:20 駐車場

* 後続Pがないのでゆっくりしました。